



学長挨拶 歓迎の挨拶の中で、浅原利正学長は、森戸辰男初代学長の言葉を引用して「自由で平和な一つの大学」を強調した。

オープニング演奏



合唱団とグリークラブOBによる『自然における神の栄光』。指揮は難波憲二名誉教授。



野外でのセレモニー&パーティ。日差しの中で「ふるさと」を共感していただけただけでしょうか。



オープニングを飾ったのは吹奏楽団の『威風堂々』。初めての野外演奏だった。指揮は山本君。



東広島キャンパスの開放的な空気を感じていただけるように、今回は会場を野外に設定。セレモニーとコンサートを中央図書館前の広場で、また、広場に面したマーメイドカフェでティーパーティを開催しました。

シンポジウム

幸い、当日は快晴。日差しはまぶしかったものの、吹き渡る風と青空の下に響き渡る音楽で、開放感いっぱいのホームカミングデーとなりました。



ホームコンサート&ティーパーティ



吹奏楽団の在校生・卒業生たちがアンサンブルを組んで演奏。



総務室の下田グループリーダーから文学部4年の久保田さんへ、司会をバトンタッチ。

卒業生によるシンポジウムも初めての試み。広島市・福山市で学んだ卒業生にも、「東広島に移転しても、広大はふるさと」と一体感を持っていただくためのアイデアを話し合いました。具体的な意見が出て、参加者からも「パネリストの意見をぜひ、これからの広大に活かして」という声寄せられました。



卒業生と浅原学長によるシンポジウムでは、キャンパスの違いを超えて意識を共有するアイデアが話し合われた。

大学歌合唱



「光あり 遠き山なみ……」参加者全員が大学歌を歌う。



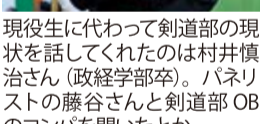
毎日放送の藤谷昌平さんは総合科学部の1期生。放送記者の視点から大学の広報にアドバイス。

永嶋恵美さんはミステリー小説家。文学部西洋哲学科の情報誌を例に情報の共有を訴えた。

愛媛県佐礼谷小学校教諭の岡崎敬之さん。「校長先生が教育学部の先輩」と、人のつながりの大切さを強調。

浅原学長も広大卒業生。パネリストの提言に熱心に耳を傾けた。

コーディネーターは松水征夫キャリアセンター長。政経学部卒業生。



現役生に代わって剣道部の現状を話してくれたのは村井慎治さん(政経学部卒)。パネリストの藤谷さんと剣道部OBのコパを開いたとか。



午後のホームコンサート。ギタークラブによる演奏。卒業生も参加して、見事なテクニックを披露してくれた。



グリークラブOBといっしょに「ふるさと」の合唱。



文書館による写真/パネル展示『広島大学の歴史展』



演奏が終わった吹奏楽団の在校生もパーティに参加。



ジャズ研究会の演奏。明るい日差しの中で聴くジャズも、いいもの。



政経学部のサークル「法社会学研究会」は誘い合わせて参加。「大学歌が歌いたくて高知から来た」という方も。



国立大学として唯一、全日本大学駅伝に出場した陸上競技部への応援をアピールする平山キャプテンと光延くん。



半世紀前の艇庫建設の写真。OBの河東君も広大ヨット部の歴史の長さに圧倒された様子。

大学祭も同時開催。東千田の大学祭パレードの写真に、今年の実行委員、上野君もビックリ。

全日本学生ダートトライアル選手権大会での優勝を報告する自動車部の西川キャプテン。